

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成25年4月22日（月）午後6時 ～ 10時
開 催 場 所	中部地区会館401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）渡辺龍也、奥原せつ子、伊東理年、比留間英世、高橋茂明、北口良夫、本間由美子、比留間毅浩、山田行雄 一般参加者：4名 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	報告事項1 委員紹介 報告事項2 平成24年度第6回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について
議 題	議題1 平成24年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 平成24年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 事業番号24-1「団体名：グラシオス プラント パートナー、事業名：小学生への花育と豊かな環境作り」は満点合計675点中、評価点数492点、事業番号24-2「団体名：特定非営利活動法人 むさしむらやま子ども劇場、事業名：ちびっ子名人育成プロジェクト」は満点合計945点中、評価点数752点、事業番号24-3「団体名：公益社団法人 立川青年会議所、事業名：子どもドリームフェスタ 2012in 武蔵村山」は満点合計945点中、評価点数が592点であり、各事業に対する評価理由については事務局で各委員の意見を取りまとめた内容を後日各委員に送付する。また、事務局が取りまとめた内容に対して各委員の意見に差異がなければ、報告書の内容について座長及び副座長に一任する。 議題2 その他 第2回会議は6月6日（木）午後6時から開催する。開催場所については後日各委員に通知する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 ◎印：提案団体 △印：一般参加者	報告事項1 委員紹介 ●平成25年4月1日付の人事異動に伴い、委員に変更があったので報告する。 報告事項2 平成24年度第6回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について ●事前に各委員に配布した平成24年度第6回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録については修正等の連絡をいただいていたため、ホームページ等で公開している。 議題1 平成24年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について (平成24年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会) ●平成23年度に採択を受け、平成24年度に事業を実施した3団体に

事業の内容について報告していただく。各委員については評価票に基づき評点をお願いする。

事務局の説明に対し、各委員意見等はあるか。

-意見なし-

団体名：グラシオス プラント パートナー

事業名：小学生への花育と豊かな環境作り事業

-実施団体による報告-

質疑応答

○事業の実施方法や手法について「低学年への対応が難しい」と自己評価しているが、具体的にはどのようなことか。

◎第九小学校は3年生を対象に花や野菜を一から育てる事業を実施したが、大人でも野菜を一から育てて収穫するまでは大変である。今後、低学年に対して事業を実施する場合は花育の大切さが分かるような手法に工夫していきたい。

○本事業は団体育成型だが、事業を通して、団体がどのように向上したのか。

◎指導者としてスキルアップすることができた。

○市民のニーズは適切に把握できたと自己評価しているが、学校関係者以外の地域で活動している自治会やPTAのかたのニーズを適切に把握できたと考えているのか。

◎学校の先生の意見を踏まえた評価であるとともに、花を植えて綺麗になった学校を批判する人はいないと判断して評価を付けた。

○1つの小学校に対して、何回、足を運んだのか。

◎各学校3回ずつ足を運んだ。また、電話等での打ち合わせを行っている。

事業を実施した学校の中で栽培委員会が発足されている学校は栽培委員会が事業を継続して行っていくのか。また、栽培委員会が発足されていない学校はどのように事業を継続していくのか。

◎栽培委員会は5年生、6年生で構成されているので、毎年6年生が卒業してしまい、いなくなってしまうが、6年生の生徒には5年生に花育を伝えていくよう教えているので、事業は継続されていくと考えている。栽培委員会がない学校については、先生に事業を継続していくようお願いしていく。

○本事業の目的は各小学校に花育をしていく環境及び仕組み作りを整備することではないのか。

◎栽培委員会が発足されている学校については、6年生が5年生に花育を伝えていくので、仕組み作りは整っていると思う。

○栽培委員会がない学校は先生をお願いしていただけないのか。

◎栽培委員会がない学校については今後も学校と連絡及び連携を図り、花育を継続していけるようにしたい。

○市民ニーズの充足の自己評価が5だが、主観的に評価したのか。それとも客観的に評価したのか。

◎学校の先生の意見や生徒の姿を見て評価したので、主観的な評価と客観的な評価の両方である。

○今後は客観的に評価した方がよい。

○収支決算書がないので、コスト等について評価ができない。

●今後、収支決算書を資料として配布していくようにする。

学校の先生が事業に対して関心を持たないのはどうしてなのか。
◎学校の先生は授業などがあり、通常業務だけでも忙しいので花育を実施するのが難しいのではないかと感じるが、今後は先生に関心を持ってもらえるよう事業に対しての熱い思いを伝えていき、協力してもらえるよう努力していきたい。
事業を実施した現場を今年度実施する学校の先生に見てもらえれば、先生の花育に対する気持ちも変わってくると思う。

団体名：特定非営利活動法人 むさしむらやま子ども劇場
事業名：ちびっ子名人育成プロジェクト

-実施団体による報告-

○子どもたちに達成感や得意なものを身につけさせるという事業の目的は達成できたか。
◎検定制度を導入することにより、子どもたちが検定に合格したときの姿を見ることができ達成感は十分に得られていたと思っている。
○本日、配布された資料の中に放課後子ども教室の利用率が記載しており、雷塚小学校は118名、第九小学校が106名となっているが、この人数は本事業の参加人数なのか。
◎資料に記載してある人数は放課後子ども教室の利用人数であり、本事業の参加人数ではない。本事業の参加人数は1校の生徒に対し45枚認定表を配布しているので、2校合わせて約90名程度である。
○デエダラまつりに参加したのは90名の内35名なのか。
◎そのとおりである。
○3級以上の検定に合格した子どもにはけん玉をプレゼントしたようだが、90名の参加者の内70名が3級以上に合格したのか。
◎そのとおりである。
○放課後子ども教室に練習用のけん玉はあるのか。
◎新品ではないが用意してある。
○事業を実施した学校と今後どのように関わっていくのか。
◎デエダラまつりが開催される前に「おさらい会」という形でプロの講師と共に事業を実施した学校に足を運ぶ予定である。
事業を実施した学校の新入生はうまくなくても検定を受けられないので、けん玉をもらうことはできないのか。
◎新たな課題として受け止めたい。
○本事業は協働型事業であるが、当初、チラシは団体が作成するはずだが、なぜ、協働所管課がチラシを作成したのか。
◎協働所管課には各学校との調整をお願いしていたが、調整していくうちにチラシも作成してもよいとなった。
協働事業としての意義と必要性の自己評価理由の意味がわからない。
◎問題がある子どもたちに対しては放課後子ども教室の支援員のかたに協力していただき、問題のある子どもたちを適切に指導しながら実施することができた。
課題に対する事業の効果についての自己評価理由の中に「戸惑いのある子がいたが、親の顔が見えないため、満足のいく対応ができなかった。」とあるが、これはどういう意味なのか。
◎デエダラまつりに参加したくても親の都合が合わず、参加できない子どもがいたので、親と密に接していき、今後はそのようなことがないようにしていく必要があるということである。

団体名：立川青年会議所
事業名：子どもドリームフェスタ 2012in 武蔵村山

-実施団体による報告-

○課題の発生に、双方の立場から適切に対応したかの自己評価が2点であり、理由として「運営の難しさがあり適切かとなると改善点がある。」と記載しているが、具体的にはどのような運営の難しさ、改善点が必要なのか。

◎実行委員会の中で進捗状況の報告をする機会があり、その中で出た課題策を見出さないまま、次の会議に持ち越しするという事があった。

○課題を抱えたまま事業を実施したのか。

◎事業を実施した際には課題は解決されている。

○来賓に市長を招いているが、自治会長や市内のNPO団体の代表者を招かなかったのはなぜか。

◎そのような考えはなかった。

□事業に参加した人数は何人か。

◎武蔵村山市、立川市、国立市、瑞穂町内の企業や学校にチラシやポスターを配布し、当初は20,000人以上の来場者を見込んでいたが、実際は約2,500人であった。

○本事業は5月に実施しているが、5月は運動会などの行事が多いので子どもが参加しづらい状況が事前に把握できたはずだが、秋などに変更した方がよいというような意見はなかったのか。

◎5月以外に変更することができなかったが、小学校の運動会開催日と重ならない日に変更はした。

□アンケート調査結果を見ると市内の人が全体の3分の1であり、25,000人の3分の1は800人程度であるため、100万円の補助金の費用対効果は低い。また、他市のかたに武蔵村山市のどのようなよいところを知ってもらえたのか。

◎日産の工場はないが、日産の工場近辺には高い技術をもった会社がたくさんあった。そのことを知らない子どもたちが多くいる中、本事業を通して子どもたちに市内の企業の技術を伝えられたと思う。また、武蔵村山市のコミュニティの強さも知ることができたと思う。

○実行委員会の委員には市内のかたはおおよそ何人いるのか。

◎3割程度である。

○これだけの事業を関係団体と調整しながら実施するのは非常に大変なことであったと思う。また、当初、見込んでいた集客は得られなかったが、有意義なイベントと認識されれば、見込んでいた集客も得られると思うので、頑張ってもらいたい。

○宇宙科学ブースなどいろいろあるが、武蔵村山市をメインとしたブースを多く出展していく必要があったのでないか。

◎市内で宇宙ロケットの部品を作っている会社があるが、協力を得られることができなかった。

○子どもたちが見て市内の企業が作ったと分かるようにしないと意味がない。

□市内の企業が報告書に載っていないのはなぜか。

◎市内の企業に多く参加してもらおう予定だったが、交渉不足等によって実現できなかった。

□事業の成果の中に「子どもたちが「来年も来ようね。楽しみだね。」

	<p>との声を聞いて夢や希望、そして日本の素晴らしさに気づいていただけた。」とあるが、子どもたちの一言で日本の素晴らしさに気づけたと思うのはおかしいのではないか。</p> <p>◎本事業を運営していて子どもたちが口にした言葉は本音であると思っている。また、子どもたちが大人になったときに地域の役に立ちたいと思ってくれると確信をもっている。</p> <p>○協働事業の役割分担はどうだったかについて自己評価の理由に「反省点もある。」と記載してあるが、具体的にどのような点なのか。</p> <p>◎協働所管課には当日の運営を手伝っていただいたが、行政の利点を最大限に発揮するような協働ができなかったことである。</p> <p>●委員のかた以外で質問のあるかたはいるか。</p> <p>△チラシやポスターを使用し、どのように広報したのか。</p> <p>◎市に配布の許可を取り各学校や児童館に配布した。市内の飲食店にも配布してもらった依頼をした。</p> <p>●以上で本日の報告会を終了とする。</p> <p>(評価等について)</p> <p><input type="checkbox"/>本会議では審査に係る審議、検討又は協議に関する情報を非公開情報として取扱うこととしているので、ここから会議を非公開とする。実施団体関係者及び協働所管課職員、一般参加者には退席をお願いする。</p> <p><input type="checkbox"/>それでは、各委員には事業ごとに評点を付していただき、事務局に提出願いたい。事務局集計中、会議は休憩時間とする。</p> <p>●事務局集計結果を座長へ報告</p> <p>-非公開-</p> <p>議題2 その他</p> <p><input type="checkbox"/>第2回会議は6月6日(木)午後6時から開催する。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 (武蔵村山市情報公開条例第8条第4号に定める情報のため)	傍聴者： _____ 0 人
-------------	--	----------------

会議録の開示・非開示の別	<input type="checkbox"/> 開示 <input checked="" type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例第8条第4号) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------	--

庶務担当課	生活環境部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)